

- ◆企画名 「聴く」と「話す」で人心掌握！
- 日 程 平成 27 年 12 月 11 日（金）
- 場 所 総合学生会館凜風館 4 階 和室
- 参加者数 16 名（ピア・サポーター 5 名、研修生 2 名、一般学生 8 名、職員 1 名）
- 目 的

昨今、学生に対してコミュニケーション能力が強く求められるようになった。一概にコミュニケーション能力と言っても様々なものがあるが、その一つに会話を通して他者の心を掴むことが挙げられる。そこで本企画は、現職の産業カウンセラーである鶴飼柔美先生に「聴く」・「話す」についての講義とワークを実施していただき、関西大学の学生が心を掴む会話への理解を深める機会となることを目的とする。

#### 内 容

- ①コミュニケーション・「聴く」・「話す」の基本などについての小講義
- ②コミュニケーション・「聴く」・「話す」の基本などについてのワーク
- ③上手な頼み方、断り方、自己主張の仕方についての小講義
- ④上手な頼み方、断り方、自己主張の仕方についてのワーク
- ⑤振り返り・アンケート記入

#### 効 果

- 企画の内容について
- ・講義とワークの両方を取り入れることで、学びながら実践することが出来た。
  - ・最初に「他人と会話することが苦手だ」と話していた参加者が、ワーク内で笑顔で話すようになったり、途中から積極的に発言する参加者が出てきたりと、企画を通じて成長する参加者が見られた。
  - ・参加者が少人数であったため、賑やかな雰囲気苦手とする参加者にとっては、居心地が良かったのではないかと考えられる。
- その他
- ・メンバーも、参加者とともに楽しみながら参加することができた。
  - ・アンケート結果が概ね良好であった。

#### 改 善 点

- ・1時間半という時間に対して、内容がやや多かった。ワークが終わる際に、喋り足りないという顔をする学生が多く、またワークの時間が長ければ参加者同士の仲もより深まったと思われる。
- ・広報を始めるのが遅く、想定よりも参加者数が少なかった。
- ・応募があったものの来なかった学生が1名居たが、何も対応ができなかった。応募の際に電話番号を訊いておくべきだった。

#### 感 想

メンバーも参加者と同様に楽しみながら企画に参加することで、参加者間のコミュニケーションを自然に促すことができた。最初に「話すのが苦手」と言っていた参加者が、だんだん笑顔で喋るようになっていたりする姿を見て、本企画を実施して良かったと思えた。今回のみならず、鶴飼柔美先生によるコミュニケーションに関する講座は毎回好評であるため、またこのような企画を行いたい。